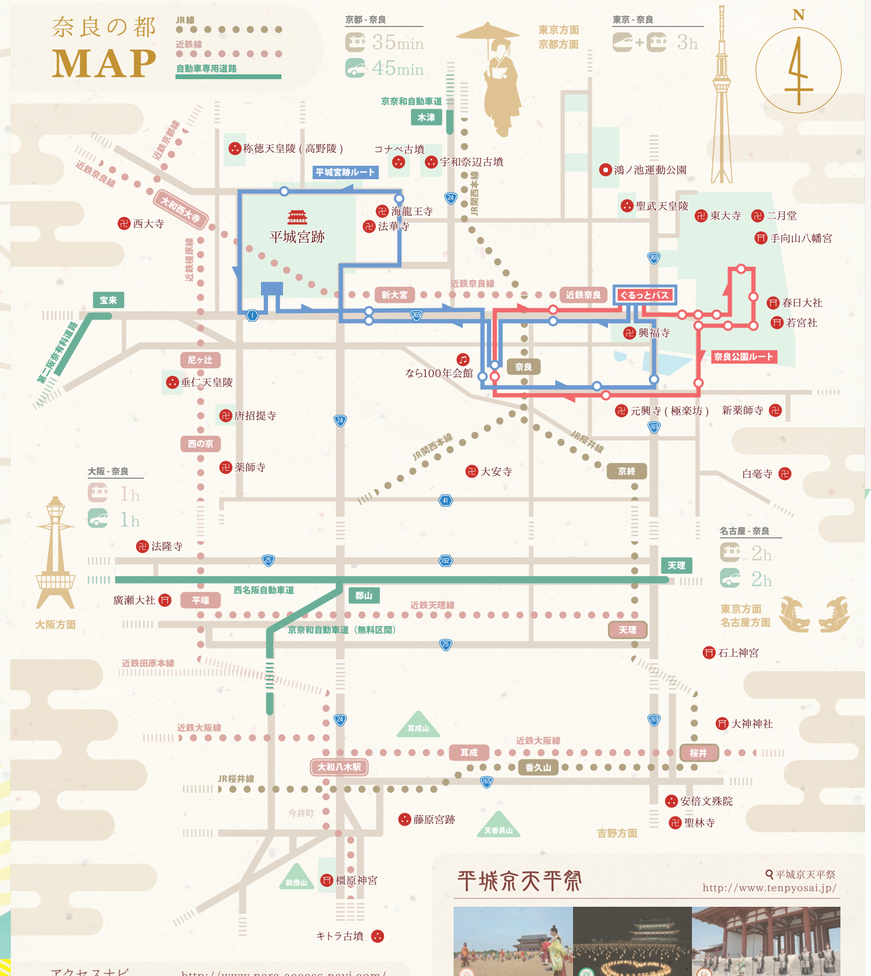
さぁ、宮殿へ行こう！

平城宮跡

HEIJŌ KYU SEKI

奈良の都 MAP



アクセスナビ　http://www.nara-access-navi.com/

平城宮跡へのアクセスに便利なナビゲーションサイトです。

平城宮跡QuickGuide　http://heijo-kyo.com/

発　行　平城宮跡にぎわいづくり実行委員会、奈良県平城宮跡事業推進室
ＴＥＬ　0742−27−8973
協　力　法華寺・西大寺・海龍王寺・文化庁・奈良文化財研究所

制　作　株式会社月眠　　デザイン　池内翔・変幻ラボ
編　集　安達えみ　　撮　影　西口舞

平城京天平祭

平城京天平祭
http://www.tenpyosai.jp/

写真：平城京天平祭実行委員会

平城宮跡で春・夏・秋に行われる奈良時代を感じることができるイベント。シーズン毎に様々な催しが盛りだくさん。

平城京天平祭にお越しのうえ、ぜひ古の時代に思いを馳せてみてください。

- 春　平城京の時代の歴代天皇、貴族、文武百官が天平衣装を身にまとい練り歩く「天平行列」が宮跡を彩る
- 夏　夜の平城宮跡で「燈花会@大極殿」などの光と灯りの幻想的な空間を楽しめる
- 秋　季節の美しい花々の展示と、「衛士隊の再現」などの古代行事の再現が行われる

奈良時代のスーパーウーマン！光明皇后・阿倍内親王の祈りの足跡をたどる 散策おすすめルート

1 海龍王寺　5min

光明皇后発願のお寺。遣唐使の渡海安全を祈ったお寺で、現在も旅行・留学安全祈願をしている。端正な顔立ちの十一面観音様にうっとり。

2 法華寺　15min

ご本尊の十一面観音様は光明皇后がモデル。光明皇后が考えたといわれる「お守り犬」は今も尼僧さんが一つ一つ手作りしている。

3 平城宮跡　10min

奈良観光で絶対外せない、世界に誇る日本の宮殿！360度見渡せる広大な景色に囲まれて奈良時代に思いを馳せてみよう。

4 平城京歴史館 遣唐使船復原展示　25min

大陸の制度・技術・文化を持ち帰るため、命がけで海を渡った遣唐使たち。遣唐使船の甲板に上がって記念撮影。

5 西大寺

称徳天皇が、藤原仲麻呂の乱の鎮圧と国家安泰を願って建てたお寺。創建当時から残る四天王像の邪鬼をはじめ、多くの仏像が安置されている。

ちょっと足を伸ばして

+α 称徳天皇陵（高野陵）

父・聖武天皇、母・光明皇后との間には男の子が育たず、阿倍内親王は史上唯一の女性皇太子として皇位継承が決められていた。仏教と都の奥に生涯を捧げた孤高の女性リーダー。

平城宮跡散策に便利♪「なら平城京歴史ぷらり」アプリ

Android

iPhone

平城宮の周りのお寺紹介

平城宮と共に歩んできたお寺にはそれぞれの物語がありました。

国の繁栄と、平和を願ってつくられた平城京。その中心である平城宮の周りには、いくつものお寺が建てられました。平城京にとってお寺は、欠かすことができない大切な場所です。法華寺、海龍王寺、そして西大寺は、当時の天皇・皇后の思いを受け継ぎ、今もなお、平和のために祈りを続けています。ご本尊の前で目を閉じ、静かに手を合わせていると、仏様、そして奈良時代の人々と対話しているような気分に浸ることができます。日常の喧騒をはなれ、穏やかな気持ちで奈良を感じてみませんか？

法華寺

皇室、そして光明皇后の思いと共に1250余年

新大宮駅より徒歩15分

法華寺は光明皇后の父・藤原不比等邸跡に建てられています。平城宮の東院庭園と隣り合っていることから、当時は幼い皇族の方々がよくお寺に遊びに来ていたようです。

お寺を建てた光明皇后は困窮者救済に尽力された方で、女性の鏡、そんな光明皇后の意志を受け継ぎ、お寺では今もお尼僧が一つ一つ手作りしています。

「お守り犬」は、今もなお尼僧が一つ一つ手作りしています。

ご本尊の十一面観音様、また白檀で作られた国内唯一の御分身に会いにいらしてください。

樋口教香住職

海龍王寺

「国」ではなく「個人」に寄りそう天皇家の祈願・祈祷寺院

新大宮駅より徒歩15分

海龍王寺は平城遷都以前からこの地にあった寺院がもとになっています。

奈良時代、光明皇后が海龍王寺を改め、国全体を守るためというよりは、皇族一人一人を仏教の力で支えるお寺となっていきました。

仏法を伝える平城宮内唯一の内道場となり、唐から帰った玄昉が教鞭をふるっていました。

平城宮の内裏からも近い場所にある為、悩みを抱えた天皇が玄昉さんを頼ってお寺に来ていたかもしれませんね。

石川重元住職

西大寺

女帝・称徳天皇が目指した日本一煌びやかなお寺

大和西大寺駅より徒歩5分

奈良時代最後の大寺・西大寺。国を守るために四天王像造立から始まりました。

称徳天皇はこのお寺も、父・聖武天皇の建てた東大寺に負けない日本一煌びやかなお寺にしようと願っていました。

本堂前には実際には建立できなかった称徳天皇の夢のあと・八角七重塔のキセキとともに、五重塔跡が残っています。

千三百年の時間のふるいにかけて残っているものは良いに違いありません。

都の土が残る場所へ是非お越しください。

中野祥圓主事

おすすめコースの詳細

いざ、宮跡へ。

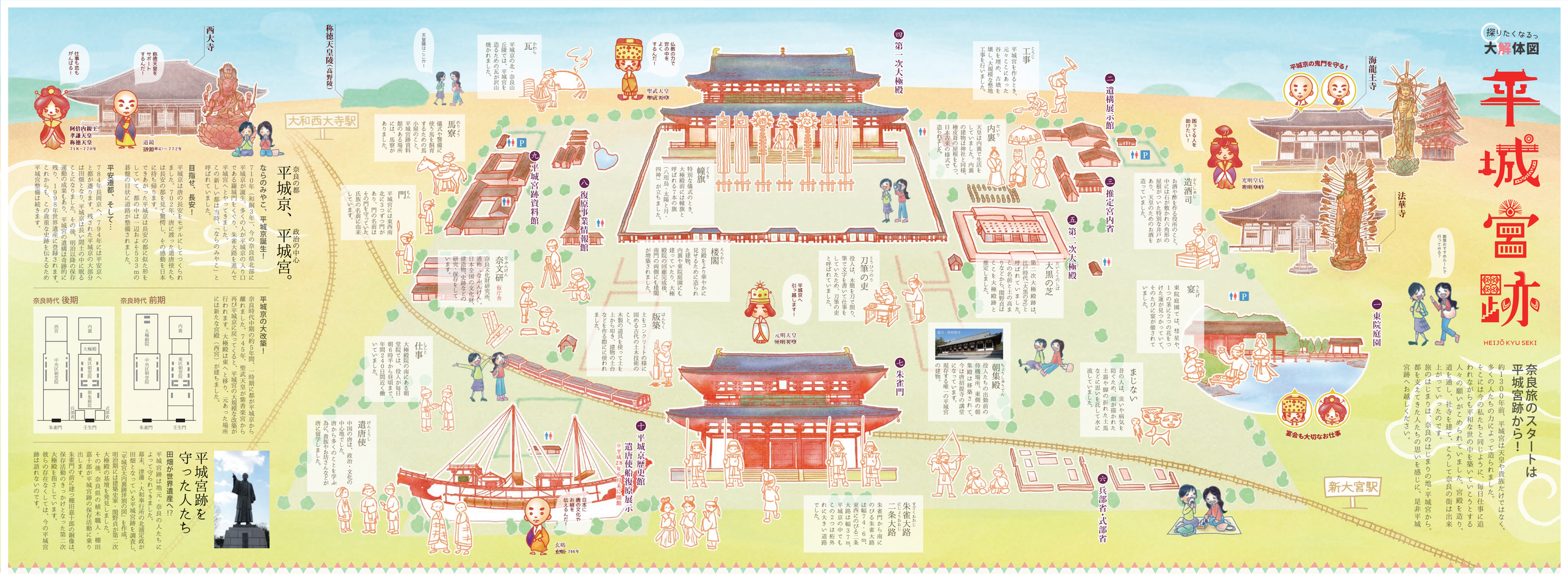
探りたくなるっ
大解体図

平城宮跡

HEIJŌ KYU SEKI

奈良旅のスタートは平城宮跡から！

約1300年前、平城宮は天皇や貴族だけではなく、多くの人たちの力によって造られました。そこには今の私たちと同じように、毎日仕事に追われながらも平和な世の中を築いていこうとする人々の願いがこめられていました。宮殿を造り、道を通し、社寺を建て、こうして奈良の街は出来上がっていったのです。旅のはじまりは、奈良のはじまりの地、平城宮から。都を支えてきた人たちの思いを感じに、是非平城宮跡へお越しくんださい。



施設紹介

一 東院庭園

古代庭園で優雅に宴!?

歴代の天皇は、東院庭園で宴会や儀式を行っていました。ここには緑色の釉薬をかけた瓦が見つかっていて、称徳天皇が生前に豪華な東院を建てたのかもしれません。今も秋にはお月見会が行われています。

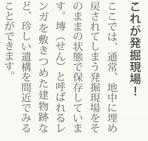
写真と奈良文化財研究所

入園料 無料（令和4年4月現在）
開園時間 9時～16時半 入園は16時半まで
休園日 月曜日・年末年始

二 遺構展示館

これが発掘現場！

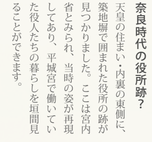
ここでは、通常、地中に埋め戻されてしまう発掘現場をそのままの状態で保存しています。塀（せん）と呼ばれるレンガを敷きつめた建物跡など、珍しい遺構を間近でみることができます。



三 推定宮内省

奈良時代の役所跡？

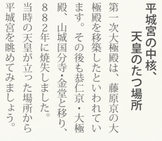
天皇の住まい・内裏の東側に、築地塀で囲まれた役所の跡が見つかりました。ここは宮内省とされ、当時の姿が再現してあり、平城宮で働いていた役人たちの暮らしを垣間見ることができます。



四 第一次大極殿

平城宮の中核、天皇のたつ場所

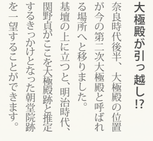
第一次大極殿は、藤原京の大極殿を移築したといわれています。その後も恭仁京・大極殿、山城国分寺・金堂と移り、8082年に焼失しました。当時の天皇が立った場所から平城宮を眺めてみましょう。



五 第二次大極殿

大極殿が引っ越し!?

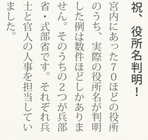
奈良時代後半、大極殿の位置が今の第一次大極殿と呼ばれる場所へと移りました。基壇の上に立つと、明治期に、関野貞がここを大極殿跡と推定するきっかけとなった朝堂院跡を一望することができます。



六 兵部省・式部省

祝、役所名判明！

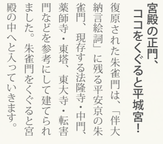
宮内にあった70ほどの役所のうち、実際の役所名が判明した例は数件ほどしかありません。そのうちの2つが兵部省・式部省です。それぞれ兵士と官人の人事を担当していました。



七 朱雀門

宮殿の正門、ココをくぐると平城宮！

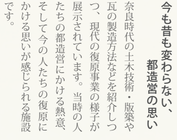
復原された朱雀門は、「伴大納言絵詞」に残る平安京の朱雀門、現存する法隆寺・中門、薬師寺・東塔、東大寺・転害門などを参考にして建てられました。朱雀門をくぐると宮殿の中へと入っていきます。



八 復原事業情報館

今も昔も変わらない、都造営の思い

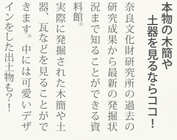
奈良時代の土木技術・版築や瓦の製造方法などを紹介しつつ、古代の復原事業の様子が展示されています。当時の人たちの都造営にかける熱意、そして今の人たちの復原にかける思いが感じられる施設です。



九 平城宮跡資料館

本物や土器を見るならココ！

奈良文化財研究所の過去の研究成果から最新の発掘状況まで知ることが出来る資料館。実際に発掘された木簡や土器、瓦などを見ることができます。中には可愛いデザインをした出土物も？！

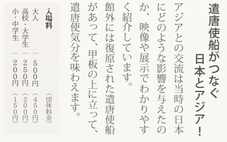


十 平城京歴史館

※平成28年6月末に閉館

遣唐使船がつなぐ日本とアジア！

アジアとの交流は当時の日本にとのような影響を与えたのか、映像や展示でわかりやすく紹介しています。館外には復原された遣唐使船があって、甲板の上に立って、遣唐使気分を味わえます。



「平城宮跡歴史公園」の玄関口として新たに生まれ変わった施設がオープンします！遣唐使船もリニューアル予定です。

入館料

	個人	団体
大人	500円	400円
高校・大学生	250円	200円
小・中学生	200円	150円